

2025年度

地方創生の取組概要

説明資料

豊岡市 市長公室 経営企画課

地 方 創 生 の 取 組 概 要 （ 目 次 ）

I	2025年度 地方創生の戦略体系	7
II	2025年度 地方創生事業の手段別予算概要	8
III	2025年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要	12

【戦略目的】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
	01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている	
	No.1 情報戦略推進(広告・宣伝、「ひょうご豊岡フェア」の開催)【継続】	13
	No.2 UIターン推進(飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)【継続】	15
	No.3 企業版ふるさと納税の獲得推進【継続】	17
	重複 (No.9) 豊岡スマートコミュニティ推進	
	重複 (No.12) 地域おこし協力隊の推進	
	重複 (No.23) 観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	
	01-02 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
	No.4 UIターン推進(移住・就活イベントへの出展)【継続】	18
	01-03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている	
	No.5 UIターン推進(民間移住相談窓口業務等)【継続】	20
	重複 (No.12) 地域おこし協力隊の推進	
02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
	02-01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている	
	No.6 企業誘致推進【継続】	21
	02-02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
	No.7 内発型産業育成(ステップアップ支援等)【継続】	22
	No.8 地域経済担い手育成(ビジネス相談窓口、創業支援、事業承継支援)【新規】	23
	No.9 豊岡スマートコミュニティ推進【継続】	25
	No.10 新規就農総合支援【継続】	26
	No.11 豊岡農業スクール【継続】	27
	No.12 地域おこし協力隊の推進【継続】	28
	No.13 UIターン推進(若者施策)【継続】	29

	02-03 豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	
	No.14 靴産業人材確保強化推進、豊岡靴海外展開推進 【新規】	30
	重複 (No.28)コウノトリ育むお米ブランド化推進	
	02-04 市民が多様な人々を受け入れている	
	No.15 多文化共生推進 【拡大】	32
	No.16 多様性推進 【拡大】	33
	No.17 定住推進(移住者等への支援、東京圏からの移住支援) 【継続】	34
	重複 (No.5) UIターン推進(民間移住相談窓口業務等)	
	重複 (No.12) 地域おこし協力隊の推進	
	重複 (No.36) 専門職大学連携推進	
03 いきいきと暮らす女性が増えている		
	03-01 性別に関わらず地域での協働が進んでいる	
	No.18 ジェンダーギャップ解消推進 【拡大】	36
	No.19 ファミリーサポートセンター 【継続】	38
	03-02 性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	
	重複 (No.18)ジェンダーギャップ解消推進	
	03-03 ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	
	No.20 ワークイノベーション推進 【継続】	40
	No.21 子育て中の女性の就労促進 【拡大】	42
	04 豊岡で人々が世界と出会っている	
	04-01 世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
	No.22 城崎温泉街交通環境改善 【継続】	44
	No.23 観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等) 【継続】	46
	No.24 観光まちづくり推進(専門人材の配置等) 【継続】	47
	No.25 インバウンド誘客推進 【継続】	48
	No.26 豊岡演劇祭協同開催 【継続】	50
	No.27 文化観光推進 【継続】	51
	04-02 メイドイン豊岡が世界に広がっている	
	No.28 コウノトリ育むお米ブランド化推進 【継続】	52
	重複 (No.33) アーティスト・イン・レジデンス	

04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	
	No.29 出石永楽館歌舞伎開催【継続】	54
	No.30 豊岡アートシーズン2025【継続】	55
	No.31 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2025参加)【継続】	57
	No.32 城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託等)【継続】	58
	No.33 アーティスト・イン・レジデンス【継続】	59
	No.34 演劇のまちづくり推進【継続】	60
	重複 (No.12) 地域おこし協力隊の推進	
	重複 (No.15) 多文化共生推進	
	重複 (No.26) 豊岡演劇祭協同開催	
	重複 (No.35) 専門職大学連携推進	
	04-04 世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	
	No.35 専門職大学連携推進【継続】	61
	重複 (No.26) 豊岡演劇祭協同開催	
	重複 (No.40) 英語教育推進	
05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
	05-01 子どもたちが豊岡のことをよく知っている	
	No.36 ふるさと教育推進【継続】	63
	No.37 おっとろっしゃ!とよおかのものづくり【継続】	64
	No.38 植村直己顕彰【新規】	65
	05-02 子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	
	重複 (No.36) ふるさと教育推進	
	05-03 子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	
	No.39 コミュニケーション教育推進【継続】	67
	No.40 英語教育推進【継続】	68
	No.41 非認知能力向上対策【継続】	69
	No.42 英語遊び保育推進【継続】	70

06	結婚したいと思う人が結婚できている		
	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	
		重複 (No.13) UIターン推進(若者施策)	
	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	
		No.43 出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援・運営経費)【拡大】	72
		重複 (No.13) UIターン推進(若者施策)	
	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
		No.44 お見合い推進(縁むすびさん)【継続】	74
		重複 (No.43) 出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援・運営経費)	

I 2025年度 地方創生の戦略体系

上位目的		豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的		暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
主要手段－具体的手段		2025年度事業(*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載)
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	情報戦略推進(広告・宣伝、「ひょうご豊岡フェア」の開催)、Uターン推進(飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、企業版ふるさと納税の獲得推進、豊岡スマートコミュニティ推進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進(移住・就活イベントへの出展)
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	企業誘致推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成(ステップアップ支援等)、地域経済担い手育成(ビジネス相談窓口、創業支援、事業承継支援)、豊岡スマートコミュニティ推進、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進、Uターン推進(若者施策)
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	靱産業人材確保強化推進、豊岡靱海外展開推進、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、多様性推進、定住推進(移住者等への支援、東京圏からの移住支援)、Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕
03-03	やりたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)、観光まちづくり推進(専門人材の配置等)、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観光推進
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、豊岡アートシーズン2025、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2025参加)、城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託等)、アーティスト・イン・レジデンス、演劇のまちづくり推進、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おっとろっしゃ！とよおかのものづくり、植村直己顕彰
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	Uターン推進(若者施策)〔重複〕
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	出会い機会創出(はーとピー、民間イベント支援、運営経費)、Uターン推進(若者施策)〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	お見合い推進(縁むすびさん)、出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援・運営経費)〔重複〕

■2025年度地方創生事業の手段別予算概要

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
【01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	01	豊岡の良さが内外に伝わっている
	02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
01手段小計(5事業) ※重複は除く		
【02】 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
	02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
	04	市民が多様な人々を受け入れている
02手段小計(12事業) ※重複は除く		
【03】 いきいきと暮らす女性が増えている	01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
	02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
03手段小計(4事業) ※重複は除く		
【04】 豊岡で人々が世界と出会っている	01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている

(単位:千円)

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	情報戦略推進(広告・宣伝、「ひょうご豊岡フェア」の開催)	4,797	秘書広報課
2	Uターン推進(飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)	3,370	地域づくり課
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	3,671	経営企画課、観光政策課
重複	(No.9)豊岡スマートコミュニティ推進	—	—
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.23)観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	—	—
4	Uターン推進(移住・就活イベントへの出展)	728	地域づくり課
5	Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)	3,633	地域づくり課
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
		16,199	
6	企業誘致推進	1,059	環境経済課
7	内発型産業育成(ステップアップ支援等)	20,451	環境経済課
8	地域経済担い手育成(ビジネス相談窓口、創業支援、事業承継支援)	20,273	環境経済課
9	豊岡スマートコミュニティ推進	1,114	DX・行財政改革推進課
10	新規就農総合支援	43,189	農林水産課
11	豊岡農業スクール	11,708	農林水産課
12	地域おこし協力隊の推進	200,162	地域づくり課
13	Uターン推進(若者施策)	3,006	地域づくり課
14	靴産業人材確保強化推進・豊岡靴海外展開推進	5,900	環境経済課
重複	(No.28)コウトリ育むお米ブランド化推進	—	—
15	多文化共生推進	12,507	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
16	多様性推進	1,325	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
17	定住推進(移住者等への支援、東京圏からの移住支援)	16,700	地域づくり課
重複	(No.5)Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)	—	—
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.35)専門職大学連携推進	—	—
		337,394	
18	ジェンダーギャップ解消推進	8,941	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
19	ファミリーサポートセンター	1,608	こども未来課
重複	(No.18)ジェンダーギャップ解消推進	—	—
20	ワークイノベーション推進	5,995	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
21	子育て中の女性の就労促進	6,240	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
		22,784	
22	城崎温泉街交通環境改善	16,704	建設課
23	観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	11,606	観光政策課
24	観光まちづくり推進(専門人材の配置等)	39,750	観光政策課
25	インバウンド誘客推進	23,863	観光政策課
26	豊岡演劇祭協同開催	30,299	観光政策課
27	文化観光推進	7,242	観光政策課
28	コウトリ育むお米ブランド化推進	—	農林水産課
重複	(No.33)アーティスト・イン・レジデンス	—	—

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
04手段小計(14事業) ※重複は除く		
【05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
05手段小計(7事業) ※重複は除く		
【06】 結婚したいと思う人が結婚できている	01	若者が集い、交流する場が増えている
	02	多種多様な出会いの機会が充実している
	03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
06手段小計(2事業) ※重複は除く		
2025地方創生(44事業) 総計		
※参考 2024地方創生(44事業)		

事業No.	事業名	予算額	担当課
29	出石永楽館歌舞伎開催	82,627	出石振興局地域振興課
30	豊岡アートシーズン2025	5,986	文化・スポーツ振興課
31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2025参加)	5,376	文化・スポーツ振興課
32	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託等)	18,548	文化・スポーツ振興課
33	アーティスト・イン・レジデンス	7,867	文化・スポーツ振興課
34	演劇のまちづくり推進	2,000	観光政策課
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.15)多文化共生推進	—	—
重複	(No.26)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.35)専門職大学連携推進	—	—
35	専門職大学連携推進	10,919	観光政策課、 竹野振興局地域振興課
重複	(No.26)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.40)英語教育推進	—	—
		262,787	
36	ふるさと教育推進	465	学校教育課
37	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	500	環境経済課
38	植村直己顕彰	1,100	日高振興局地域振興課
重複	(No.36)ふるさと教育推進	—	—
39	コミュニケーション教育推進	—	学校教育課
40	英語教育推進	13,179	学校教育課
41	非認知能力向上対策	5,588	学校教育課
42	英語遊び保育推進	1,801	幼児育成課
		22,633	
重複	(No.13)Uターン推進(若者施策)	—	—
43	出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援・運営経費)	3,537	地域づくり課
重複	(No.13)Uターン推進(若者施策)	—	—
44	お見合い推進(縁むすびさん)	2,024	地域づくり課
重複	(No.43)出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援・運営経費)	—	—
		5,561	
		667,358	※対前年比 89.7%
		(743,852)	

Ⅲ 2025 年度

地方創生事業の戦略体系別取組概要

1 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）

上位目的 (最終アウトカム)	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的 (中間アウトカム)	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

【2040 年の豊岡市の政策目標人口 ⇒ 62,165 人】

- (1) 若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）
 - ・ 2015 年「39.5%」⇒ 2025 年までに「50%」に引き上げる
- (2) 合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）
 - ・ 2015 年「1.82 人」⇒ 2035 年までに「2.3 人」に引き上げる

（参考：若者回復率 ～2015 年国勢調査時と 2020 年国勢調査時の比較～）

	2015 年国勢調査 (2010→2015 年)	2020 年国勢調査 (2015→2020 年)	
全体	39.5%	35.3%	(△4.2ポイント)
男	52.2%	41.6%	(△10.6ポイント)
女	26.7%	28.5%	(+1.8ポイント)

2 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市—Local&Global City—」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇らせ、地域活力の維持を図る。

「上位目的」（※最終アウトカム：豊岡市地方創生総合戦略において長期的に実現したい状態）を実現するために、「戦略目的」（※中間アウトカム：当面 5 年間程度で達成したい状態）を定め、戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この戦略目的に、それぞれ主要手段と、その主要手段を実現するための具体的手段を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

具体的 手 段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	2025 年度 予算額	11,838 千円
------------	-------	-----------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
1	情報戦略推進 (広告・宣伝、「ひょうご豊岡フェア」の開催)	4,797 千円	継続
2	U I ターン推進 (飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)	3,370 千円	継続
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	3,671 千円	継続
重複	(No.9) 豊岡スマートコミュニティ推進	(1,114 千円)	—
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(200,162 千円)	—
重複	(No.23) 観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	(11,606 千円)	—
合計		11,838 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-01	豊岡の良さが内外に知られている		
No. 1	事業名	情報戦略推進 (広告・宣伝、「ひょうご豊岡フェア」の開催)	2025 年度 予算額	4,797 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のまちの魅力が伝わり、観光客、移住者、交流人口が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の認知度が低い東京（首都圏）を中心に情報発信を継続的に行い、本市の知名度を高め、観光客、移住者、交流人口の増加を図る。
- 2025 年大阪関西万博の開催により、関西圏には国内外から多くの人々が訪れることが予想される。万博開催を契機に本市の情報発信を行い、知名度を高める。

1 事業内容

(1) 広告・宣伝業務 【2,597 千円】

豊岡の魅力や先進的な取組みをテレビ局や出版業者等に取り上げてもらうように働きかけ、豊岡の認知度を高める。

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

ア 本市への取材・番組化等のため、テレビ局等へ働きかけを行う。

イ 首都圏での豊岡の認知度を高めるため、雑誌広告による情報発信を行う。

ウ メディア(記者)および生活者に最もよく活用されているプレスリリース配信サービスの PRTIMES を利用した情報発信を行う。

(2) 「ひょうご豊岡フェア」の開催 【2,200 千円】

本市では市制 20 周年、コウノトリ放鳥 20 年を迎える。また大阪では万博においてコウノトリ野生復帰の取組みが紹介される。これを機にコウノトリ野生復帰をテーマにした情報発信を大阪市内で行い、国内外での知名度を高める。

ア 期間 9 月 26 日(金)～28 日(日)

イ 場所 あべのハルカス近鉄本店

ウ 内容 コウノトリ野生復帰の取組みおよび観光「六面体豊岡」の紹介、豊岡市の特産品等の販売など

2 事業期間

2009 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額(補助率・負担率等)

4,797 千円 (新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金))

補助率: 交付対象額の 1/2)

担当課名【秘書広報課】(内線 2061)

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
No. 2	事業名	U I ターン推進 (飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)	2025 年度 予算額	3,370 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者のU I ターンへの意識が醸成されている。
- 豊岡での暮らしや楽しみ方を併せて仕事情報を発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Uターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

- 市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住を検討する際に必要な情報（暮らし・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。

1 事業内容

- (1) 移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」等による情報発信 【2,200 千円】
市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事や SNS で発信する。併せて、住まい、仕事、支援制度などの情報も発信する。
- (2) 移住ポータルサイトの運営 【486 千円】
「飛んでるローカル豊岡」および「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」の保守管理および修正・更新を行う。
- (3) 民間サイトでの発信および SNS 広告 【684 千円】
ア 移住スカウトサービス「SMOUT」の活用
移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「SMOUT（スマウト）」を活用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者および関係人口の増加を図る。
イ SNS 広告等
「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」の認知度向上のため、企業情報や就職情報の SNS 広告を配信する。



移住スカウトサービス「SMOUT」を活用した情報発信。
「SMOUT 移住アワード（人気移住地域ランキング）」では毎年上位に入賞。

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

2 事業期間

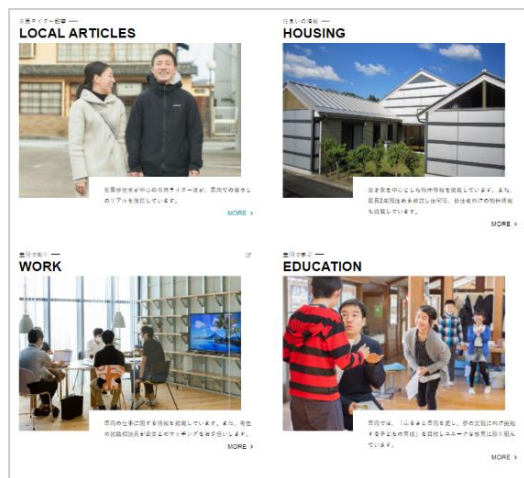
2016 年度～

3 事業主体

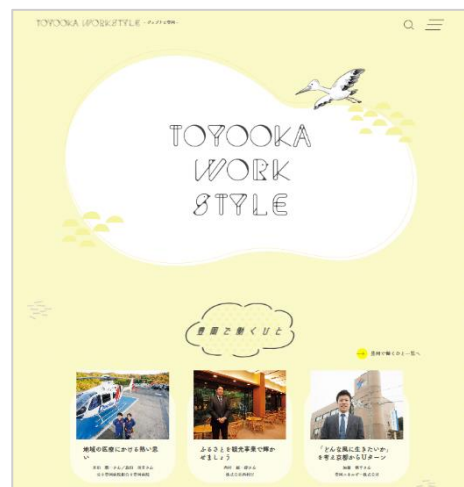
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,370 千円



移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」



仕事情報サイト「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている			
No. 3	事業名	企業版ふるさと納税の獲得 推進	2025 年度 予算額	3,671 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン”が増え、“豊岡ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の人口減少の量的緩和および地域活力維持の質的転換による地方創生をさらに推進するための財源を確保するとともに、本市の取組みに共感する企業を増やすため、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。

1 事業内容

(1) 企業版ふるさと納税の獲得

深さをもった演劇のまちづくり、ジェンダーギャップの解消等、本市が進める地方創生の取組みに共感する企業に対して、企業版ふるさと納税支援サービス等を活用して積極的にアプローチを行うなど、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。

2 事業期間

2020 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,671 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【経営企画課】（内線 2081）

【観光政策課】（内線 2321）

具体的 手 段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	2025 年度 予算額	728 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	--------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
4	U I ターン推進 (移住・就活イベントへの出展)	728 千円	継続

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No. 4	事業名	U I ターン推進 (移住・就活イベントへの出展)	2025 年度 予算額	728 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者のU I ターンへの意識が醸成されている。
- 豊岡での暮らしや楽しみ方を併せて仕事情報を発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Uターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

- 市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住を検討する際に必要な情報（暮らし・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。
- 高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報を発信することでUターンを促進する。

1 事業内容

(1) 移住、就活イベントへの出展 【545 千円】

潜在的な移住希望者が多い都市圏（東京・大阪）での移住イベントや大学主催の就活イベント等に出展し、豊岡の価値や魅力、仕事情報を伝え、豊岡への来訪や移住につなげる。

(2) はたちを祝う会の公式LINEで式典終了後も継続して豊岡市の情報を発信する。

【183 千円】

2 事業期間

2016 年度～

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

728 千円



昨年度の移住フェアの様子



はたちを祝う会公式 LINE

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的 手 段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	2025 年度 予算額	3,633 千円
------------	-------	------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
5	U I ターン推進 （民間移住相談窓口業務等）	3,633 千円	継続
重複	（No.12）地域おこし協力隊の推進	（200,162 千円）	—
合計		3,633 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No. 5	事業名	U I ターン推進 （民間移住相談窓口業務等）	2025 年度 予算額	3,633 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡市への移住を検討する人に寄り添い、移住定住に結び付ける。

《事業目的（趣旨）》

- 移住希望者が求める情報を的確に提供する。

1 事業内容

(1) 市ワンストップ窓口の設置 【225 千円】

移住希望者への「暮らし・住まい・仕事等」の情報提供やマッチングを行うワンストップ窓口の設置。

(2) 民間移住相談窓口の設置 【3,408 千円】

移住相談と現地案内等の業務の一部を民間へ委託し、夜間および休日での対応を行うなど、行政と連携・協力して移住を推進する。



2 事業期間

2016 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,633 千円

民間移住相談窓口
「暮らしのパーラー」

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的 手 段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	2025 年度 予算額	1,059 千円
------------	-------	----------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
6	企業誘致推進	1,059 千円	継続

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている		
No. 6	事業名	企業誘致推進	2025 年度 予算額	1,059 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、U I ターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 若者や女性が働きたい職場となることが期待される I T 企業等を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。

1 事業内容

(1) I T 関連事業所開設支援補助金 【132 千円】

市内に新たに I T 関連の事業所を開設、または新規雇用を伴う事業拡大により移転等を行う事業者に対し、経費の一部を支援する。

過年度に採択した事業者へ補助金を交付する。(36 ケ月継続補助)

(2) コワーキングスペース開設支援事業補助金 【927 千円】

市内での起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースを新たに開設する事業者等に対し経費の一部を支援する。過年度に採択した事業者へ補助金を交付する。(36 ケ月継続補助)

2 事業期間

2016 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,059 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的 手 段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジ する人が増えている	2025 年度 予算額	299, 903 千円
------------	-------	-----------------------------	----------------	-------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
7	内発型産業育成 (ステップアップ支援等)	20, 451 千円	継続
8	地域経済担い手育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、事業承継支 援)	20, 273 千円	新規
9	豊岡スマートコミュニティ推進機構	1, 114 千円	継続
10	新規就農総合支援	43, 189 千円	継続
11	豊岡農業スクール	11, 708 千円	継続
12	地域おこし協力隊の推進	200, 162 千円	継続
13	U I ターン推進 (若者施策)	3, 006 千円	継続
合計		299, 903 千円	

【事業別の詳細 (以下、事業ごとの説明)】

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No. 7	事業名	内発型産業育成 (ステップアップ支援等)	2025 年度 予算額	20, 451 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像 (姿)》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。

《事業目的 (趣旨)》

- 成長を目指す企業を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

(1) 豊岡市ステップアップ支援補助金 【20, 352 千円】

具体的な目標 (営業利益や付加価値等) を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。

補助金	対象	商工団体の伴走支援	補助率および補助額	対象経費
ステップアップ支援補助金	市内事業者	必須	1/2 以内 (※) 上限 150 万円	設備導入費、事業所工事費、展示会出展費、WEB 制作費等

※ 環境経済事業を推進する事業は補助率 2/3 以内

(2) 内発型産業育成事業にかかる有識者への意見聴取等 【99 千円】

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

20,451 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No. 8	事業名	地域経済担い手育成 （ビジネス相談窓口、創業支援、 事業承継支援）	2025 年度 予算額	20,273 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様な創業者や事業承継者が地域経済を担う存在として成長・活躍し、地域内で新たな価値や雇用を生み出す環境が作られている。

《事業目的（趣旨）》

- 創業および事業承継にかかる多様な支援施策の連携を強化し、地域に根差した経済の担い手となる経営者を創出するとともに、伴走支援を通じてその育成を図る。

1 事業内容

(1) ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA⁺（イッポ トヨオカ プラス）」の運営 【7,022 千円】

市内における創業希望者や市内事業者を対象にしたビジネス相談窓口を運営する。

ア ビジネスに関する総合相談

事業の立ち上げや高度化に必要な助言、創業期のフォローアップおよび事業計画策定の支援等を行う。

イ 外部専門家アドバイザー派遣相談

ニッチ分野や企業会計・財務等の専門性の高い相談を対象に、必要に応じて外部専門家アドバイザーを派遣し、IPP0 相談員と連携した専門相談を行う。



▲ ビジネス相談に応じる IPP0+相談員

ウ ビジネスセミナーの開催

創業に関心のある方、創業間もない方および市内事業者等を対象にビジネスセミナーを開催し、起業や事業のヒント、新たなつながりの機会を提供する。

(2) 補助制度 【10,200 千円】

ア 起業チャレンジ支援補助金

市内で創業・事業承継を行う際に必要となる経費を支援する。

対象	商工団体の 伴走支援	補助率および 補助額	対象経費
市内で創業、事業 承継を行う者	必須	1 / 3 以内 (※1) 上限 100 万円 (※2)	設備導入費、事業所工事費、 賃借料、広告宣伝費等

※1 若者（45 歳以下の者）および女性の場合は、補助率 2 分の 1

※2 雇用の創出や過疎地域における取組みなど、地域の活性化・課題の解決に取り組む場合は上限 125 万円

(3) 事業承継マッチング事業 【3,051 千円】

ア 豊岡市継業バンク（図参照）による事業承継の推進

イ 事業承継セミナーの開催

市内事業者の事業承継ニーズを掘り起こし、事業の譲り受けを希望する方に対して適切に情報を提供し、事業承継をサポートする。

▲事業承継マッチングサイト「豊岡市継業バンク」

2 事業期間

2025 年度～2027 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

20,273 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金） 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No. 9	事業名	豊岡スマートコミュニティ推進	2025 年度 予算額	1,114 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 第5次行財政改革大綱の取組みの柱である「(1)公共サービスが多様な人たちによって創造されている」、「(2)多様な市民の思い・願いが尊重されている」を実現する仕組みの1つをつくる。

1 事業内容

(1) 全体の事業内容

「スマートコミュニティ」の実現に向け、デジタル等を活用し地域課題の改善・解決を図るための各種取組みを推進するとともに、公共サービスの市民との共創に取り組む。

(2) 2025年度の主な事業

- ア 福祉モビリティの実証
- イ デジタルを活用した交通安全教室の実施
- ウ 市民向けアプリ「Toyooka iD0」の推進
- エ 市民のWillを応援するイベント「みんな×エール」の実施

2 事業期間

2020 年度～

3 事業主体

豊岡スマートコミュニティ推進機構

4 予算額（補助率・負担率等）

1,114 千円

担当課名【DX・行財政改革推進課】（内線 2041）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.10	事業名	新規就農総合支援	2025 年度 予算額	43,189 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者および農業経営者を確保し、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内で農業経営を行う認定新規就農者（18 歳以上 45 歳未満）を対象に、経営開始直後の資金や、農業設備の導入経費を支援する。
- 市外からの転入者（豊岡農業スクール研修生を含む）には家賃補助を行う。
- 市内で就農する際の経費負担を軽減することで、若者の移住および農業への定着を推進する。

1 事業内容

- (1) 就農希望者の掘り起こし
市内外の相談会で、市内農業の魅力を発信し、担い手の確保につなげる。
- (2) 新規就農者の経営開始への支援
 - 新規就農総合支援事業
 - 農業次世代人材投資資金
1 人あたり最高 150 万円/年の資金を最長 5 年間交付する。
 - 経営開始資金
1 人あたり最高 150 万円/年の資金を最長 3 年間交付する。
 - 経営発展支援事業
経営開始 1 ～ 2 年目の設備導入に対し、経費の 3/4 以内を補助する。
(上限 750 万円。経営開始資金と併用する場合は上限 375 万円。採択制)
※上記(ア)は 2021 年度以前の受給開始者、(イ)および(ウ)は 2022 年度以降の受給開始者が対象。
 - 若手農家支援事業
 - 農業用機械等整備費助成事業
設備導入経費の 1/2 以内を補助する(上限 300 万円)。
 - 家賃補助事業
市に転入する新規就農者等に家賃の 1/2 以内を補助する(上限 3 万円/月)。

2 事業期間

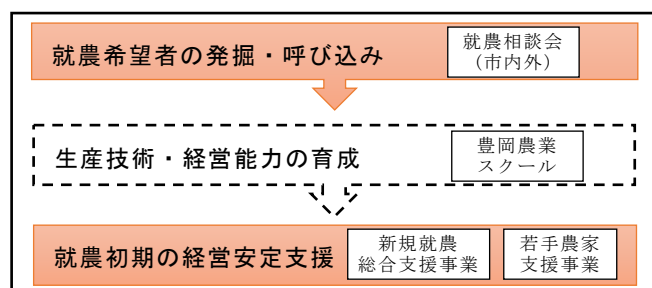
2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

43,189 千円（新規就農総合支援事業補助金（10/10）36,756 千円）



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.11	事業名 豊岡農業スクール	2025 年度 予算額	11,708 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者および農業経営者を確保し、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内での就農を目指す者を対象に、希望する農業分野に応じて、市内の先進的な農業経営者のもとで生産や経営の技能を習得する研修制度を実施する。
- 水稻や大豆等、広大な農地を必要とする土地利用型経営体（集落営農組織等）の後継者不足も顕著であるため、研修先並びに卒業後の就農先としてのマッチングを図る。
- 2023 年度から 2032 年度までを豊岡農業スクール第 2 期として位置づけ、年 5 人を募集し、10 年間で 50 人の人材育成を目標とする。

1 事業内容

(1) 農業研修の実施（市認定農業者連絡協議会に委託）

- ア 研修時間 年 1,800 時間程度（実地研修、座学研修、就農計画作成）
- イ 研修期間 1 年間（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）
※更新により 1 年間延長可（最長 2 年間）
- ウ 研修生の募集人数 年 5 人
- エ 研修生の年齢要件 なし

(2) 就農準備資金（国 10/10）

スクール研修生を対象に、1 人あたり最高 150 万円/年の資金を交付する。

※就農予定時の年齢が 50 歳未満である等、国の要件を満たす者が対象。

＜参考＞ 2023 年度末までに 29 人が卒業して市内で就農し、水稻、野菜、畜産、果樹等の分野で活躍している。

2 事業期間

2013 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,708 千円（就農準備資金（国 10/10）10,500 千円）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.12 事業名	地域おこし協力隊の推進	2025 年度 予算額	200,162 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域おこし協力隊制度を活用して着任した隊員が、地域の課題解決に取り組むことで地域の活性化に繋がっている。
- 活動期間を満了した隊員が市内で起業するなど、地域に定住している。

《事業目的（趣旨）》

- 総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。

1 事業内容

- (1) 隊員活動の推進
- (2) 隊員の起業支援
- (3) 新規隊員の募集
- (4) 「おためし地域おこし協力隊」制度（※）を活用した実地体験等の実施
- (5) 「地域おこし協力隊インターン」制度（※）を活用した実地体験等の実施
※応募検討者が事前に現地で活動体験を行う際に、滞在費用等を支援する制度
「おためし」は2泊3日以上、「インターン」は2週間以上の活動体験
- (6) 隊員の活動サポートと勤怠管理

2 事業期間

2014 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

200,162 千円



活動サポートの一環で研修会・交流会を実施

- (1) 隊員活動経費 181,855 千円
(継続 29 名 119,212 千円+新規 15 名 62,145 千円+全体管理経費 498 千円)
- (2) 隊員の起業支援 12,045 千円 (補助率 1/2、上限 200 万円)
- (3) 新規隊員の募集 2,978 千円
- (4) おためし協力隊の実施 948 千円
- (5) インターンの実施 336 千円
- (6) 隊員の活動サポート 2,000 千円

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.13 事業名	U I ターン推進 (若者施策)	2025 年度 予算額	3,006 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者の交流を促進し、定住率の向上を図る。

1 事業内容

若者の居場所づくり事業を実施する。

(1) まちづくりワークショップの開催 【1,006 千円】

若者を対象としたまちづくりワークショップを開催する。招聘した外部専門家がワークショップのファシリテートや事業全体のコーディネートを行う。

(2) 若者企画事業の実施 【1,530 千円】

「まちの掲示板リメイクプロジェクト」「アイティ前芝生広場の活用」「空き家物件を活用した拠点整備・交流事業」を継続実施する。

また、ワークショップで出たアイデアをブラッシュアップし、具現化へ導く「KANAU プロジェクト（仮称）」を実施する。

(3) 若者交流イベントの開催 【470 千円】

市内企業に就労している若手社員や大学生を対象とした交流イベントと、豊岡市出身の 21 歳の方を対象とした交流イベントを開催する。

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市



2024 年芝生広場を活用した企画

4 予算額（補助率・負担率等）

3,006 千円（（一社）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉の地域再生マネージャー事業補助金 補助率：補助対象経費の 2/3）

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的 手 段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	2025 年度 予算額	5,900 千円
------------	-------	----------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
14	鞆産業人材確保強化推進、豊岡鞆海外展開推進	5,900 千円	新規
重複	(No.28) コウノトリ育むお米ブランド化推進	(－ 千円)	－
合計		5,900 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている			
No.14 事業名	鞆産業人材確保強化推進、 豊岡鞆海外展開推進	2025 年度 予算額	5,900 千円	新規 継続 拡大	

《目指す将来像（姿）》

- 鞆産業を強化することによって、豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 鞆産業における人材不足の解消を図ることで、基盤産業である鞆産業の振興を図る
- 大阪・関西万博を契機に、インバウンド需要を取り込み「豊岡鞆」（豊岡財布、豊岡小物を含む）の販売を強化することで、基盤産業である鞆産業の振興を図る。

1 事業内容

(1) 鞆産業人材確保推進事業 【2,900 千円】

兵庫県鞆工業組合が行う、鞆産業の人材確保のために実施する下記の事業に対して補助を行う。

- ア 工業組合による人材確保推進活動
- イ 人材確保のためのオンラインツール強化
- ウ 人材育成機能の強化
- エ 外国人人材の雇用推進

(2) 豊岡鞆海外展開推進事業 【3,000 千円】

万博期間中に高まるインバウンド需要の取り込みのため、兵庫県鞆工業組合が行う外国人への「豊岡鞆」の認知度向上、販路拡大に関する取組みを支援する。

- ア 大阪・関西万博ひょうご国出展に係る P R 事業
- イ 豊岡鞆直営店(3店舗)を活用したインバウンド向け P R 戦略・販売強化事業

主要手段 02 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている

ウ 越境ECおよび海外ポップアップによる海外認知度向上事業
エ インターナショナルギフトショーへの出展

2 事業期間

2025 年度～2027 年度 ※豊岡鞆海外展開推進事業は 2025 年度のみ

3 事業主体

兵庫県鞆工業組合、豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,900 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）
補助率：交付対象額の 1/2）



KITTE 大阪豊岡鞆店

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的 手 段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	2025 年度 予算額	30,532 千円
------------	-------	------------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
15	多文化共生推進	12,507 千円	拡大
16	多様性推進	1,325 千円	拡大
17	定住推進（移住者等への支援、東京圏からの移住支援）	16,700 千円	継続
重複	(No.5) UI ターン推進 (民間移住相談窓口業務等)	(3,633 千円)	—
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(200,162 千円)	—
重複	(No.35) 専門職大学連携推進	(10,919 千円)	—
合計		30,532 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
No.15	事業名	多文化共生推進	2025 年度 予算額	12,507 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している

《事業目的（趣旨）》

- 「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態を達成するため、ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できる取組みを推進する。

1 事業内容

(1) 外国人市民相談窓口の設置

多言語相談員を配置し、転入者等に豊岡市で生活するために必要な情報の提供を行うとともに、窓口での手続きのサポートや相談受付等を行う。

(2) 子育て支援総合拠点での外国人市民交流事業および研修会等開催

ア 多文化交流サロンの開催（委託）

外国人市民へ生活オリエンテーションや多文化理解の交流事業等を実施する。

- イ 多文化共生のための研修会開催
外国にルーツを持つ子どもに関する研修ややさしい日本語講座等を開催する。
- (3) 多言語化等によるコミュニケーション支援および生活支援
 - ア 市役所業務での多言語対応
映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語での情報提供や相談対応を図るとともに、各種手続きの申請書類、生活情報等を多言語（やさしい日本語を含む）に翻訳し提供する。また、市の事業へ外国語通訳ボランティアを派遣する。
 - イ 在住外国人コミュニケーション支援事業（補助）
日本語教室の開設運営、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。
 - ウ 転入者等対象の初級日本語教室の開催（委託）
日本語学習機会の充実を図るため、無料の初級日本語教室を開催する。
- (4) 第2次豊岡市多文化共生推進プランの策定 【新規】
多文化共生推進に関する調査研究事業を実施し、第2次豊岡市多文化共生推進プランに反映させる。

2 事業期間
2019 年度～

3 事業主体
豊岡市



- 4 予算額（補助率・負担率等）
12,507 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）
補助率：交付対象額の 1/2）
（市町日本語教育体制づくり事業補助金 補助率：交付対象額の 1/2）

多文化交流サロン（ごみの分別について学ぶ）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
No.16 事業名	多様性推進	2025 年度 予算額	1,325 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様性の価値が理解され、まちづくりや経済活動の中で多様な人々がいきいきと活動している

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市多様性推進方針（2025 年 3 月策定予定）に基づき、基本構想の主要手段 4「多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている」に関する事業を総合的に推進するとともに、この方針を、豊岡市基本構想をはじめとする各種計画に横串を通すものとして位置づけ、多様性の視点をあらゆる施策に反映することに努める。

1 事業内容

(1) アドバイザーの設置

ア 多様性推進アドバイザー（兼多文化共生推進アドバイザー）

田村太郎氏（一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事）

イ ジェンダー平等推進アドバイザー

大崎麻子氏（Gender Action Platform 理事）

(2) 多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会の開催

ア 多様性推進方針に基づき一体的な取組を実施する。【拡大】

「多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会」の中に分科会（ジェンダーギャップ対策分科会・多文化共生推進分科会）を置き、それぞれの計画の進行管理および改定作業を行う。

イ LGBTQ/SOGIE、パートナーシップ・ファミリーシップ制度等の導入について、専門家を招聘し、検討する。

(3) 多様性に関する研修会の開催 【新規】

2 事業期間

2024 年度～

3 事業主体

豊岡市



豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

1,325 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
No.17 事業名	定住推進 （移住者等への支援、東京圏からの移住支援）	2025 年度 予算額	16,700 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する方々に寄り添い、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

- 移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を高め、移住を促進する。
- 地域が移住者を受け入れ、定住につなげる気運を醸成する。

1 事業内容

(1) 移住への各ステージに応じた支援 【13,700 千円】

ア 移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金）

- (ア) 航空運賃（補助率定額 片道 4,000 円/人）
- (イ) 宿泊費（補助率定額 大人 2,000 円/人、子ども 1,000 円/人）
- (ウ) レンタカー借受費用（補助率定額 3,000 円/日）

イ 移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金）

- (ア) 引越し費用（補助率 10/10 上限 200 千円）
- (イ) 住宅（空き家）改修費（補助率 2/3、上限 1,000 千円）
- (ウ) 賃貸用空家の清掃費等（補助率 10/10 上限 100 千円）

ウ 移住後の生活支援

コウノトリ育む農法のお米（10 kg）贈呈

(2) 東京圏からの移住支援金 【3,000 千円】

国の制度を活用し、東京圏からの移住者に移住支援金を交付する。

世帯移住：1,000 千円＋子 1,000 千円×2 人（※）

※18 歳未満の世帯員を帯同して移住する場合一人あたり 1,000 千円加算

2 事業期間

2010 年度～

3 事業主体

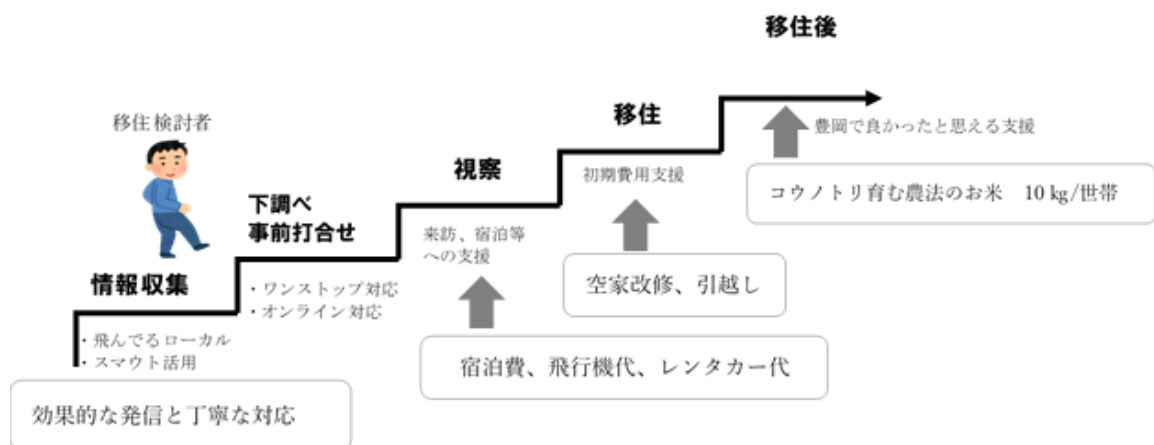
豊岡市



飛んでるローカル豊岡の空き家物件情報

4 予算額（補助率・負担率等）

16,700 千円



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的 手 段	03-01	性別に関わらず地域での協働が 進んでいる	2025 年度 予算額	10,549 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
18	ジェンダーギャップ解消推進	8,941 千円	拡大
19	ファミリーサポートセンター	1,608 千円	継続
合計		10,549 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.18 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	2025 年度 予算額	8,941 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021 年 3 月策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

1 事業内容

(1) ジェンダー視点の主流化推進

専門家の助言を受けながらジェンダー視点のある政策等の実施に向けた取組みを推進する。

(2) 市民の理解拡大と意識・行動変革の促進

地域コミュニティ組織（モデル地区）、教員、幼稚園教諭・保育士などを対象に地域啓発推進アドバイザーによる研修・ワークショップを実施する。

(3) 地域リーダー塾 2025 の開催 【新規】

政治、経済、地域の各分野で活躍する若手(50 歳未満の男女)リーダーを育成

(4) 啓発ツールの活用

ア オリジナル絵本「みらいへの つばさを ひろげて」の読み聞かせ会を開催

イ 市民向け意識啓発動画の配布、活用

(5) ジェンダーギャップ解消戦略後期プラン策定 【新規】

2021 年度に実施した「暮らしの中の性別役割分担の実態と意識調査」および「働きやすく働きがいのある職場づくりに向けた事業所調査」と同様の調査を行い、

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

ジェンダーギャップ解消の取組の成果を確認するとともに、後期プランに反映させる。



豊岡みらいチャレンジ塾 2024



豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略体系図

2 事業期間

2019 年度～2030 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

8,941 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.19	事業名 ファミリーサポートセンター	2025 年度 予算額	1,608 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）による会員組織である。
- 保育施設等への送迎や、一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、SNS を利用した情報発信を行う。

※2017 年 4 月センター設立。同年 7 月から相互援助活動を開始。

2024 年 12 月末会員数：421 人（2023 年度末会員数：380 人）

おねがい会員 256 人

まかせて会員 82 人

どっちも会員 83 人

2 事業期間

2017 年度 ～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,608 千円（国補助金 補助率：基準額の 1/3）

（県補助金 補助率：基準額の 1/3）



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

具体的 手 段	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支 えあっている	2025 年度 予算額	— 千円
------------	-------	---------------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.18) ジェンダーギャップ解消推進	(8,941 千円)	—

具体的 手 段	03-03	ありたい姿に向かっていきいき と働ける機会が増えている	2025 年度 予算額	12,235 千円
------------	-------	--------------------------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
20	ワークイノベーション推進	5,995 千円	継続
21	子育て中の女性の就労促進	6,240 千円	拡大
合計		12,235 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.20 事業名	ワークイノベーション推進	2025 年度 予算額	5,995 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。
そのことを可視化することによって、若い女性のU I ターンの増加や定着につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大

まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

(2) 経営者、管理職等の意識改革、行動改革

ア 豊岡市ワークイノベーション推進会議会員事業所を中心に研修、優良事例発表、意見交換などの機会を設け、事業所が抱える具体的な課題解決を図る。

イ 女性管理職向けに、モチベーションやスキル向上、職場を越えたネットワーク形成を支援するセミナーを開催する。

(3) 従業員のキャリア形成、ネットワーク形成支援

ア 若手経営者、従業員で構成する「ブリッジメンバー」がジェンダー、ジェネレーション、社内、社外のネットワークを形成し、市内事業所のワークイノベ

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

ーションをさらに推進する。

イ 個別の悩みや問題などを多様な知識・経験を有する専門家、地域で活躍するロールモデルなどに相談できる機会を設ける。



2024 年度豊岡市ワークイノベーション推進会議総会

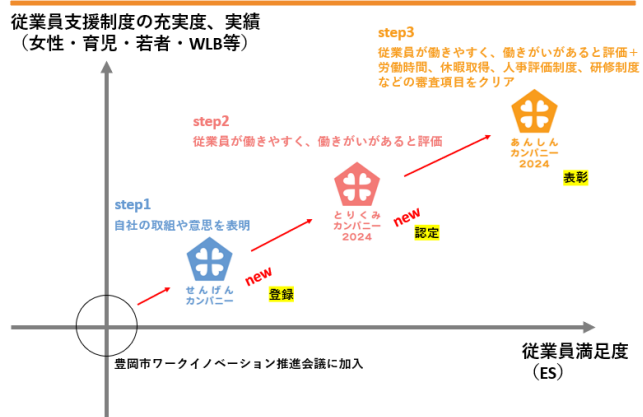
(4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

ア 「働きやすさと働きがい」に関する従業員意識調査を実施し、性別、年代別部門別にアンケート結果を分析することで、課題を把握し、改善する。

イ 従業員が働きやすく働きがいがあると評価し、制度面なども高い水準を満たす事業所をあんしんカンパニーとして表彰する。

ウ あんしんカンパニーを目指す過程を 3 つのステップで支援する。

ワークイノベーション推進の 3 ステップ



ステップ 3 : あんしんカンパニー
ステップ 2 : とりくみカンパニー
ステップ 1 : せんげんカンパニー

2 事業期間

2018 年～2027 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,995 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）
補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.21 事業名	子育て中の女性の就労促進	2025 年度 予算額	6,240 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- デジタルスキルを活用して生き生きと自分らしく働く女性を増やすとともに、IT分野におけるジェンダーギャップ解消を目指す。
- 子育て支援総合拠点等施設において、子育て中などの働きたい女性の就職・起業支援やキャリア支援に取り組む。

1 事業内容

(1) デジタル人材の育成および出口戦略 【拡大】

ア デジタルマーケティングの基礎から実践を学ぶ学習プログラムとしてオンデマンド方式の講義と対面式スクーリング、希望者を対象とした市内事業所でのインターンシップを提供する。

同時にキャリア相談や起業・就職相談を実施し、デジタルマーケティング人材（10人程度）を育成する。育成した人材については、ハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議、IPPO TOYOOKA⁺など関係団体と連携し、就労先の確保や起業に向けたサポートを行う。

イ 女性社員等のリスクリングを目的としたプログラミング教室を実施し、女性プログラミング人材の育成を図る。

ウ 女子中高生を対象に、IT・理系への苦手意識を払拭し、関心を高めるきっかけとなるプログラミング体験キャンプを実施する。

(2) WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内のみらい応援 Room での子育て中などの女性の就職・起業支援

アイティ4階のみらい応援 Roomにおいて、WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内の子どもの一時保育機能を活用しながら、関係機関・団体等と連携して、就職相談をはじめ起業相談、お金と未来の相談、キャリア相談等の開設や関連セミナーの開催など、子育て中などの働きたい女性の就職・起業支援やキャリア支援等に総合的に取り組む。



デジタルマーケティングセミナー2024



プログラミング体験キャンプ 2024

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

2 事業期間 2021 年度～2030 年度

3 事業主体

豊岡市（協力機関・団体：ハローワーク豊岡、IPPO TOYOOKA、但馬銀行など）

4 予算額（補助率・負担率等）

6,240 千円

(1)内閣府地域女性活躍推進交付金（デジタル人材・起業家育成支援型）

補助率：交付対象額の 3/4

(2)新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

具体的 手 段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	2025 年度 予算額	129,464 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
22	城崎温泉街交通環境改善	16,704 千円	継続
23	観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	11,606 千円	継続
24	観光まちづくり推進 (専門人材の配置等)	39,750 千円	継続
25	インバウンド誘客推進	23,863 千円	継続
26	豊岡演劇祭協同開催	30,299 千円	継続
27	文化観光推進	7,242 千円	継続
合 計		129,464 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.22 事業名	城崎温泉街交通環境改善	2025 年度 予算額	16,704 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 城崎温泉街で、観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全を確保し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1 事業内容

- (1) 桃島バイパスを活用した交通施策の実施に向けた社会実験の実施
- (2) 城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動

2 事業期間

2015 年度～

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

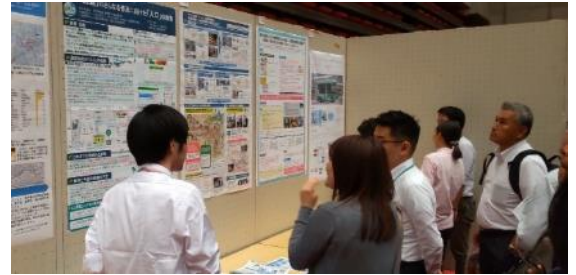
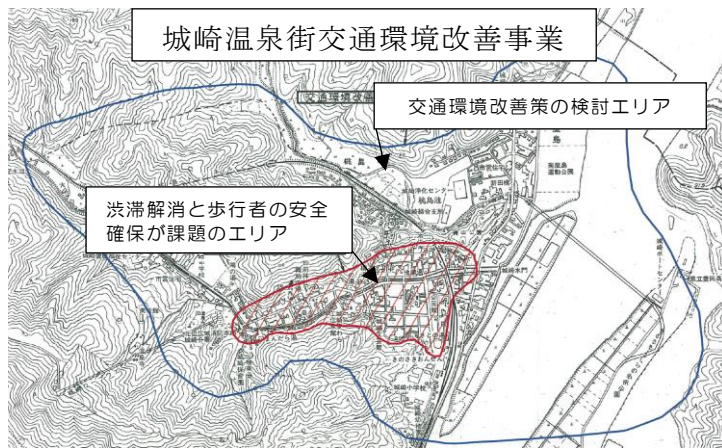
3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

16,704 千円

（道路に関する新しい取組の現地実証実験（国土交通省の支援制度）を活用予定）
社会実験調査業務委託、啓発活動に係る旅費、報償費、消耗品費 他



福井県福井市で開催された「日本モビリティ・マネジメント会議」に出席し、城崎温泉交通環境改善協議会の取り組み事例を発表した。
※そぞろ歩きルールの取組みが評価され、発表ポスターが「エコモ財団賞」を受賞。
(2024 年 8 月 24、25 日)

担当課名【建設課】（内線 2421）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.23	事業名	観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	2025 年度 予算額	11,606 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力が多くメディアに取り上げられ、「豊岡のローカル」が外部から高い評価を得ることで、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。
- 客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。
- 多様なニーズへの対応が可能で、より多くの「豊岡ファン」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 国内外のテレビ、雑誌等への露出や旅行商品の造成につなげる。
- 観光に関する様々なデータを活用し、地域への経済波及効果を高める。
- 大交流ビジョンの実現に向けて、「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、認知向上と誘客促進を図る。

1 事業内容

(1) メディア・旅行エージェント招聘事業 【1,500 千円】

国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェントなどを対象に、市の取組みや観光地の取材とメディア掲載を増やしていくため、招聘者の取材地までの費用負担、取材先調整、取材同行を行う。

(2) 観光施策に係る評価指標データ収集業務 【2,970 千円】

来訪者の動態、動向を多角的に把握、分析するため、携帯電話ネットワークの仕組みを利用して、本市への来訪者の定量分析調査を行う。

(3) 「TOYOOKA_CITY_Free_Wi-Fi」公衆無線 LAN 運用業務 【660 千円】

公衆無線 LAN サービスに必要な通信設備、関連設備の運用並びに保守管理、電波状況の監視を行う。

(4) 国内誘客推進（豊岡観光イノベーション負担金） 【6,476 千円】

ア 国内誘客・周遊促進事業

地域の事業者と連携して開発したコンテンツ等、サイト内回遊を意識した観光公式サイトの運営およびコンテンツ増加を行う。また、来訪者データの行動特性の分析により、再訪回数や滞在日数等の項目により、愛着度の高い来訪者（ロイヤルカスタマー）など、来訪者の特性に応じた情報発信、WEB・SNS を活用したマーケティングを行うことにより、旅の目的地・滞在先としての認知向上、再来訪や市内周遊による滞在時間の延長を促進する。

イ 観光DXによる地域経済活性化事業

本市における観光振興施策を評価し、PDCA サイクルを実行するための指標データを収集して分析したデータや、宿泊施設の予約状況等を自動収集するデータ基盤である「豊岡観光DX基盤」のデータ分析レポートなどを地域等で活用できるように共有する。

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

ウ 観光を切り口としたシビックプライド醸成事業

市民向け観光まちづくりセミナーの開催、市民を対象とした体験プログラムの造成等により、観光を切り口とした市民の誇りを醸成する。また、持続可能な観光地づくり推進のための基礎データとしての市民満足度調査を実施する。

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

- (1) 豊岡ツーリズム協議会
- (2)(3) 豊岡市
- (4) 一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

11,606 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）
補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.24 事業名	観光まちづくり推進 （専門人材の配置等）	2025 年度 予算額	39,750 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に市民や幅広い産業、関係団体が相互に連携しながら「大交流モデル」を推進することで「大交流ビジョン」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 民間企業で培った専門的な知識や経験、人脈を持った人材や、マーケティング等の専門的知見を有する専門家をアドバイザーとして配置し、「大交流ビジョン」の推進を図る。
- 「大交流ビジョン」の推進体制の中心に位置づけた一般社団法人豊岡観光イノベーション（以下、TTI）のプロパー人材の配置を支援するとともに、TTI の体制を強化するため、市からの職員派遣（2023 年度に増員）を継続する。

1 事業内容

- (1) 企業人配置 【15,867 千円】

専門的な知見を有する民間企業の人材を配置する。

- ア 西日本旅客鉄道株式会社
- イ 全但バス株式会社
- ウ ※派遣依頼調整中

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

(2) 事業強化負担金 【23,883 千円】

ア アドバイザーの配置

データの分析および活用や、外国人観光客誘客向け情報発信等における専門的な知識と経験を有する専門家をアドバイザーとして配置する。

イ プロパー人材の配置

(一社) 豊岡観光イノベーションにおけるプロパー人材を配置する。

ウ 市職員の派遣

市負担外の時間外勤務手当等

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

(1) 豊岡市

(2) 一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

39,750 千円

（企業人配置は、総務省「地域活性化起業人制度」を活用）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.25 事業名	インバウンド誘客推進	2025 年度 予算額	23,863 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 対象市場（主に欧米豪、台湾）における豊岡の認知度が高まり、海外の人々が豊岡の観光情報を容易かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、本市を訪れる外国人観光客が増加し、来訪者の満足度が向上している。

《事業目的（趣旨）》

- 対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。

1 事業内容

(1) 外国人スタッフ配置事業（JET プログラム） 【3,110 千円】

インバウンド誘客を進めるため、CIR（国際交流員）を配置し、情報発信と受入体制整備を行う。

(2) インフォメーションカウンター運営委託業務 【3,506 千円】

城崎温泉ツーリストインフォメーション（SOZORO）を、外国人観光客の拠点施設として活用し、インフォメーション機能の強化および着地型ツアーの販売促進により、平均泊数、滞在時間、周遊エリア数を増加させる。

加えて、国内外の来訪者へのアンケート調査・入力集計業務によりマーケティングの基礎データを収集する。

(3) 豊岡市外国語版ホームページ管理業務 【2,244 千円】

外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」の適切な保守管理を行い、情報発信や宿泊予約が可能な体制を整備し、外国人宿泊者の獲得につなげる。

(4) 海外誘客推進負担金（豊岡観光イノベーション負担金） 【15,003 千円】

ア ICT を活用したインバウンド消費拡大推進事業

豊岡市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の WEB サイト流入者データ、生成 AI（人工知能）を活用したチャットボット（自動会話プログラム）運用による問合せ等への効率的な対応およびチャットボット利用データ等を分析し、インバウンドマーケティングに活用する。

イ インバウンド対応事業者の拡大事業

海外旅行会社の旅行商品造成による誘客促進を行うとともに、地域の体験プログラムを案内するローカルガイドの養成、ベジタリアン・ハラール食対応の事業者支援等による受入環境を拡充することで、観光地としての高付加価値化、周遊促進を図る。

2 事業期間

2013 年度～

3 事業主体

(1)～(3) 豊岡市

(4) 一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

23,863 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.26 事業名	豊岡演劇祭協同開催	2025 年度 予算額	30,299 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡演劇祭が演ずる者、観る者のいずれにとっても価値のある場所となり、世界中から人々が訪れている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。
また、演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを図る。

1 事業内容

(1) 豊岡演劇祭の開催支援

ア 豊岡演劇祭 2025

- (ア) 日程 2025 年 9 月 11 日（木）～23 日（火・祝）（予定）
- (イ) 会場 城崎国際アートセンター、江原河畔劇場、豊岡市民プラザ 他
- (ウ) 演目 公式プログラム、フリンジプログラム、連携プログラム 他

(2) 豊岡演劇祭実行委員会の運営

ア 総会の開催、事務局業務

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市、豊岡演劇祭実行委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

30,299 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）



豊岡演劇祭 2024 『ナイトマーケット』
©トモカネアヤカ



豊岡演劇祭 2024 『転校生』
©igaki photo studio

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.27 事業名	文化観光推進	2025 年度 予算額	7,242 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のローカルをさらに磨きあげることで文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 「小さな世界都市-Local & Global City-」の実現に向け、本市の文化資源である“深さをもった演劇のまちづくり”を推進し、豊岡の突き抜けた価値を創造する。

1 事業内容

(1) 但東地域交流プログラム「但東さいさい」事業 【3,690 千円】

国内でも稀に見るほど多くの舞堂(歌舞伎舞台)が現存する但東地域において、舞台芸能を再考し新たな文化観光資源へと昇華させるため、地域の方々とワークショップを行い、神楽作品の公演を行う。

(2) 玄武洞公園ライトアップの実施 【3,552千円】

「自然を見せる屋外ミュージアム」をコンセプトにした玄武洞公園で、幻想的なライトアップを実施することにより、玄武洞公園の魅力を発信し集客につなげる。

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

7,242 千円

(1)文化芸術創造拠点形成事業補助金 補助率 1/3

(2)文化観光推進事業補助金 補助率 2/3



但東さいさい



玄武洞ライトアップ

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

具体的 手 段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	2025 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
28	コウノトリ育むお米ブランド化推進	— 千円	継続
重複	(No.33) アーティスト・イン・レジデンス	(7,867 千円)	—
合 計		— 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている		
No.28 事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進	2025 年度 予算額	— 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により、農村に子供たちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」で栽培されたお米のブランド化を図り、市場経済に認められた持続可能な農業を振興する。

1 事業内容

海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。

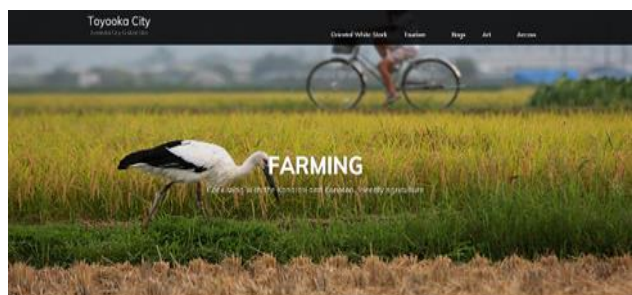
※豊岡市コウノトリ野生復帰HP「コウノトリと共に生きる豊岡」の英語版「Toyooka Living with Konotori」にコウノトリ育む農法ページを掲載

2 事業期間

2012 年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額

コウノトリ育む農法推進事業費の中で一体的に取り組む。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的 手 段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	2025 年度 予算額	122,404 千円
------------	-------	----------------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
29	出石永楽館歌舞伎開催	82,627 千円	継続
30	豊岡アートシーズン 2025	5,986 千円	継続
31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン 2025 参加)	5,376 千円	継続
32	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託等)	18,548 千円	継続
33	アーティスト・イン・レジデンス	7,867 千円	継続
34	演劇のまちづくり推進	2,000 千円	継続
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(200,162 千円)	—
重複	(No.15) 多文化共生推進	(12,507 千円)	—
重複	(No.26) 豊岡演劇祭協同開催	(30,299 千円)	—
重複	(No.35) 専門職大学連携推進	(10,919 千円)	—
合計		122,404 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 _____

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.29 事業名	出石永楽館歌舞伎開催	2025 年度 予算額	82,627 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 全国の歌舞伎ファンが、永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。
- 多くの市民が、わが町の歌舞伎公演として公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

- 出石永楽館は、近畿最古の芝居小屋であるとともに、上方歌舞伎の舞台様式を残した数少ない劇場でもある。
- 2008年の復原後に開催した柿落し公演から、上方歌舞伎の俳優・片岡愛之助さんを座頭に毎年公演を開催し続けている。また、演目も上方の様式にこだわって演出している。
- 全国から来られた来館者に、永楽館でしか味わうことのできない、観客と俳優の圧倒的な近さと一体感を楽しんでいただく。

1 事業内容

- (1) 公演期間
9月30日（火）～10月5日（日）（予定） 6日間
- (2) 公演回数
11回（1日2回公演 千鶴楽のみ1回公演）
- (3) 会場
豊岡市立出石永楽館
- (4) 内容
片岡愛之助さん他出演の歌舞伎公演
- (5) 料金
一般 14,000円 学生 4,000円 全席指定
※学生料金の対象者は、市内在住または市内学校に通学する小・中学生、高校生



会場前広場の賑わい

2 事業期間

2008年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

82,627 千円



満席の会場

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.30 事業名	豊岡アートシーズン2025	2025 年度 予算額	5,986 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
- 豊岡で優れた文化芸術作品を創造し、その魅力を発信することで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内各地域の特徴・資源を生かした多彩な文化芸術プログラムを「豊岡アートシーズン」という枠組みで一体的に展開することにより、「文化芸術のまち豊岡」のイメージを市内外に発信し、豊岡の魅力と豊岡に暮らすことの価値を高める。
- 子どもたちが豊岡に居ながらにして世界とつながることができ、豊岡でしか体験できない文化芸術事業を通して、豊岡に暮らすことの価値を高めるとともに、豊岡で暮らしたいと考える若い世代を育てる。

1 事業内容

(1) 「豊岡アートシーズン」広報事業

「豊岡アートシーズン」のホームページを、官民間問わず市内の文化芸術事業や情報を網羅したポータルサイトにリニューアルし、市全体の文化芸術事業の一体的な広報を促進する。（2025年10月～サイト運用開始予定）

(2) 出石永楽館狂言鑑賞教室

市内の小学校6年生を対象に、県指定文化財である「出石永楽館」において、日本の伝統芸能「狂言」の鑑賞教室を実施する。

2 事業期間

2016 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,986千円（文化芸術創造拠点形成事業補助金 補助率:補助対象経費の1/2以内）

<内訳> 豊岡アートシーズン2025広報等 3,726千円

出石永楽館狂言鑑賞教室 2,260千円

※豊岡アートシーズン2025参加主要プログラム全体の予算額については、裏面参照

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

【参考】

＜豊岡アートシーズン2025の主要プログラム＞ ※日程等は変更の可能性あり

No.	プログラム	開催日程	開催場所	所管課
①	出石永楽館狂言鑑賞教室	11月27・28日	出石永楽館	文化・スポーツ振興課
②	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぷの祭典」	5月27日～6月1日	市内各所	〃
③	おでかけ訪問コンサート（和太鼓）	5月～6月	市内各所	〃
④	但東地域交流プログラム「但東さいさい」開催事業	5月～2026年2月	但東地域	観光政策課
⑤	小中高生舞台芸術体験講座	5月～8月	豊岡市民プラザ	地域づくり課
⑥	市民舞踏創造事業	9月または2026年2月	豊岡市民プラザ	〃

※豊岡アートシーズン2025主要プログラム全体の予算額

22,619千円

＜内訳＞ ○数字は上表のプログラムNo.

文化・スポーツ振興課	文化芸術創造交流事業 ① 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業 ② 市民会館自主事業 ③	15,184千円
観光政策課	但東地域交流プログラム「但東さいさい」開催事業 ④	3,690千円
地域づくり課	市民プラザ事業（⑤・⑥）	3,745千円

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線2768）

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.31	事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催 (豊岡アートシーズン2025参加)	2025 年度 予算額	5,376 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとや音楽への愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- “世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ”というスローガンのもと、子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながら世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。

1 事業内容

『第 11 回おんぶの祭典』 5 月 27 日（火）～6 月 1 日（日）の 6 日間

(1) 企画内容

- ア 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ・未就学児親子向け）
- イ 学校園訪問コンサート 小学校 4 校、幼稚園等 3 園
- ウ 街角コンサート 6 か所（旧市町単位）
- エ 稽古堂キッズコンサート
- オ 稽古堂イブニングコンサート（演奏者は日替わり） 等

(2) 出演者

シュバシコウ・カルテット（弦楽 4 名）、こうのとり・クインテット（木管 5 名）、碓井俊樹、大江慧 ほか

※企画内容や出演者は調整中のため、変更になる可能性がある。

2 事業期間

2014 年度～

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

5,376 千円（文化芸術創造拠点形成事業補助金 補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線 2768）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.32	事業名	城崎国際アートセンター運営・事業 (アートマネジメント等業務委託等)	2025 年度 予算額	18,548 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活の中で芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 芸術文化の国際的戦略拠点として芸術活動を推進するとともに、地域との連携および情報発信を強化する。
- 専門的な知識を有する人材を配置し、運営体制の強化に努める。

1 事業内容

- (1) 芸術監督等の採用、アートマネジメント等業務の委託 【13,900 千円】

次のスタッフを配置する。

ア 芸術監督 市原 佐都子（非常勤）

イ プログラムディレクター、アートコーディネーター等（業務委託）

- (2) パフォーミングアーツによる集落活性化業務の委託 【4,450 千円】

地域連携ディレクターとして、地域の現状と課題を認識し、地域に関心を持ったアーティストの視点を使い、地域資源を活用するなど、課題解決策や地区の活性化を図る業務を行う。

- (3) 芸術文化情報発信事業 【198 千円】

ウェブサイトを通じて情報発信に努め、城崎国際アートセンター事業の周知および賛同を呼びかける。

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

18,548 千円

担当課名【文化・スポーツ振興課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.33	事業名	アーティスト・イン・レジデンス	2025 年度 予算額	7,867 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

- 公募により選考された国内外からの滞在アーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

1 事業内容

(1) 実施事業

- ア 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考 【93 千円】
滞在アーティストを募集、選考委員会を開催し、年間計画をまとめる。
- イ 地域交流プログラム実施、舞台操作等レジデンス支援 【5,280 千円】
滞在期間中に地域住民等との交流活動を実施し、滞在制作の支援を行う。
- ウ アーティスト・イン・レジデンス プログラム事業PR 【575 千円】
滞在制作および活動状況PRをはじめ年間プログラムを作成する。
- エ アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた地域協働支援事業
【1,919 千円】

アーティストが地域に滞在し、地域住民と共に創作活動を行うことで、地域の文化・芸術振興や活性化を図る文化庁補助事業

(2) アーティスト・イン・レジデンス事業計画

- ア 応募件数、国数 66 件、21 カ国
- イ 選考件数、国数 9 件、7 カ国

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

7,867 千円（アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業費補助金）

担当課名【文化・スポーツ振興課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.34	事業名	演劇のまちづくり推進	2025 年度 予算額	2,000 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 社会や生活の様々な場面に演劇や演劇的なものの考え方などが染み込んだ「深さをもった演劇のまち」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 「深さをもった演劇のまち」創出に向けて、市民をはじめ市内外の方々に演劇を通じて多様性理解を促す機会を提供する。

1 事業内容

- (1) 深さをもった演劇のまちづくり推進コーディネーターの配置

深さをもった演劇のまちづくりを推進していくため、コーディネーターを配置し、市民をはじめ市内外の方々へ向けて理解を促す取組みを実施する。

2 事業期間

2020 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,000 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2)

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

具体的 手 段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	2025 年度 予算額	10,919 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	-----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
35	専門職大学連携推進	10,919 千円	継続
重複	(No.26) 豊岡演劇祭協同開催	(30,299 千円)	—
重複	(No.40) 英語教育推進	(13,179 千円)	—
合計		10,919 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
No.35	事業名	専門職大学連携推進	2025 年度 予算額	10,919 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 専門職大学で学ぶ若者と地域が一体となって地域課題解決のための連携を加速度的に進め、地域活性化の先進地として全国に波及している。
- 芸術文化観光専門職大学の学生が卒業後も豊岡に住み続けている。
- センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

- 本市における地方創生の大きな推進力として期待される「芸術文化観光専門職大学」が有する機能や多様な専門的人材の知識を最大限活用し、協働して地域課題の解決を図るとともに、学生が地域に溶け込み様々な活動を実践、活躍できるよう支援することで、新たな価値の創造や地域への定着を図る。

1 事業内容

(1) 地域連携事業

地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

ア 豊岡市高大連携事業実施業務

市内の高校生（高等専修学校生、特別支援学校高等部生含む）を対象に、潜在的コミュニケーション能力を引き出すため、コミュニケーションワークショップを実施する。

イ 豊岡市中学校教育研究会等支援事業

教員の授業力の向上に資するとともに、豊岡市中学校教育の推進に寄与するため、授業を核にした研究を通した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

ウ 八代小学校の小規模特認校化による地域活性化事業

2024 年度より小規模特認校となった八代小学校において、特色のある教育の実践や、魅力的な地域づくりにつなげるために、コミュニケーションワークショップや、八代地区を題材にした演劇等を行う。

エ 子どもの居場所づくりのための意識調査事業

コミュニケーションや行動面で日常生活や社会生活に支援が必要な子どもたちがダンスを用いた表現活動等を通じて交流できる場を設け、参加している障がい児（日常生活で生きづらさを感じている子ども）とその保護者の意識変化を調査・分析することにより、日常生活で支援が必要な人の居場所づくりのあり方を検討し、居場所づくりの拡充につなげる。

オ 竹野魅力再発見プロジェクト事業 【新規】

竹野ファン（関係人口）を獲得するため、夏と海以外の地域の魅力を体験できる事業の創出を目指し、地域住民や観光事業者等で構成する実行委員会により、魅力を調査する。その発見した魅力を体験できるモニターツアー等を実施する。

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,919 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名 【観光政策課】（内線 2321）

【竹野振興局地域振興課】（内線 5210）

具体的 手 段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく 知っている	2025 年度 予算額	2,065 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
36	ふるさと教育推進	465 千円	継続
37	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	500 千円	継続
38	植村直己顕彰	1,100 千円	新規
合計		2,065 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.36	事業名	ふるさと教育推進	2025 年度 予算額	465 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの「在りたい自分」を創造する力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。
- 系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

2 事業期間

2017 年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
465 千円

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている			
No.37 事業名	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	2025 年度 予算額	500 千円	新規 継続 拡大	

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元を誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。
- 保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となりうることに對する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が実施する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催に係る事業費について補助を行う。

(1) 「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

ア 子ども向けのものづくり体験（※）

※企業の製品や技術を使用したものづくりを各社の社員が指導

イ 会員企業等の製品・技術の紹介を行う展示

ウ 会場内でのお楽しみイベント ほか

2 事業期間
2014 年度～

3 事業主体
豊岡市工業会

4 予算額（補助率・負担率等）
500 千円



『おっとりっしゃ！とよおかのものづくり 9』（2024. 7. 27-28）の様子

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.38	事業名 植村直己顕彰	2025 年度 予算額	1,100 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 国民栄誉賞を受賞した本市出身の冒険家 植村直己氏の精神を継承し、一人一人の子どもたちが困難に直面しても決してあきらめない心や自分の夢や目標に向かって挑戦する心を養うとともに、その挑戦を応援するまちづくりを進める。

1 事業内容

(1) 植村直己さんの遺した言葉の碑の設置

世界的冒険家 植村直己さんが冒険を通して遺した言葉を刻んだ碑を製作し、植村直己冒険館周辺に設置する。（数量：5 基）

碑を見た来訪者が何かに挑戦したり、前向きに行動することや挑戦することの大切さを伝え、挑戦する人を応援する機運の醸成を図る。

また、豊岡で暮らす子どもたちが植村直己さんのようなチャレンジ精神にあふれた人に成長することを目指す。

2 事業期間

2025 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,100 千円

担当課名【日高振興局地域振興課】（内線 5402）

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

具体的 手 段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2025 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-----------------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.36) ふるさと教育推進	(465 千円)	—

具体的 手 段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2025 年度 予算額	20,568 千円
------------	-------	-----------------------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
39	コミュニケーション教育推進	— 千円	継続
40	英語教育推進	13,179 千円	継続
41	非認知能力向上対策	5,588 千円	継続
42	英語遊び保育推進	1,801 千円	継続
合計		20,568 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
No.39 事業名	コミュニケーション教育推進	2025 年度 予算額 — 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。
- ローカルなまちである豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡に在るからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・I ターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組を行う。
- (2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

ン能力の育成を図る。また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

学校振興事業費の中で一体的に取り組む。

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.40 事業名	英語教育推進	2025 年度 予算額	13,179 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校 1 年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと 9 年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。

1 事業内容

- (1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
- (2) すべての小学校に配置している ALT とのティーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。（JET プログラム ALT を 9 名配置）
- (3) 英語教育推進委員会（構成員 校長 2 名、教職員 10 名）において豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
- (4) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会（豊岡市英語教育研修会）を実施する。
- (5) イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学 3 年生）を実施する。
- (6) 小学校 6 年生の指導者用デジタル教科書を購入する。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

2 事業期間

2016 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

13,179 千円

担当課名【学校教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.41 事業名	非認知能力向上対策	2025 年度 予算額	5,588 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことを目指す。

1 事業内容

(1) 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施

ア 市内の小学校1・2年生を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施する。

イ 指導は、専門性を持つ外部講師を活用する。

(2) 教職員は、授業参観および事後研修（振り返り）を行うことで非認知能力の理解を深め、日々の授業・学校行事等に活用する。

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,588 千円（ガバメントクラウドファンディング積立金等を活用）

担当課名【学校教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.42 事業名	英語遊び保育推進	2025 年度 予算額	1,801 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている。
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている。
- 自己肯定感を持てる子が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 将来、豊岡の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュの）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内の幼稚園・保育園・認定こども園（4・5歳児クラス）

イ 実施回数 年間15回程度（2週間に1回程度）

ウ 時間 5歳児・40分、4歳児・30分

エ 指導者 英語遊び指導員 4名

(2) 「子どもの理解を深める研修会」の実施

指導員の指導向上のための研修会を実施する。

(3) 英語遊び通信の発行

保護者および職員向けの英語遊び通信を発行する。

2 事業期間

2015～2016 年度 6モデル園で先行的に実施

2017 年度～ 市内の公・私立園に展開実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,801 千円



みんなで Hello !

担当課名【幼児育成課】（内線 2531）

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

具体的 手 段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	2025 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.13) U I ターン推進 (若者施策)	(3,006 千円)	—

具体的 手 段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実 している	2025 年度 予算額	3,537 千円
------------	-------	------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
43	出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支援・運営経費)	3,537 千円	拡大
重複	(No.13) U I ターン推進 (若者施策)	(3,006 千円)	—
合計		3,537 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.43	事業名	2025 年度 予算額	3,537 千円	新規 継続 拡大
	出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支 援・運営経費)			拡大

《目指す将来像（姿）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 直営でのマッチングイベント「はーとピー」を継続するとともに、民間でのマッチングイベント実施を支援することにより、婚活イベントの回数を増やし、より多くの出会いを創出する。

1 事業内容

(1) マッチングイベント「はーとピー」の開催 【1,885 千円】

ア マッチングイベント「はーとピー」（20 名程度/回）の開催

イ ホームページや地域情報誌、Instagram でイベント周知

ウ イベントにコミュニケーションワークショップ等を取り入れ交流を促進し、マッチングの増加を図る。

(2) 民間でのマッチングイベント開催支援 【150 千円】

マッチングイベントを実施したい市内の店舗を募り、1 回につき 5 万円を上限に開催の補助を行う。

(3) 運営経費 【1,502 千円】 【拡大】

ア 地域プロジェクトマネージャー（会計年度任用職員）による持続可能な結婚

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

支援体制の検討 ※人件費は含まない

イ アイティ 4 階「みらい応援 Room」に結婚支援事業の拠点を移設
ウ 結婚支援事業のホームページをリニューアル

※事業実績

	開催回数	参加者数	カップル成立	成婚数
2024 年度	10 回	211 人	33 組	2 組
2023 年度	12 回	205 人	35 組	8 組
2022 年度	12 回	267 人	56 組	6 組

※2024 年度は 1 月末現在

【累計】2013～2024 年度（1 月末現在）

138 回開催、参加者 3,196 人、588 カップル成立、成婚 70 組

2 事業期間

2013 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,537 千円



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

具体的 手 段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	2025 年度 予算額	2,024 千円
------------	-------	--------------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
44	お見合い推進（縁むすびさん）	2,024 千円	継続
重複	(No.43) 出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支援・運営経費)	(3,537 千円)	—
合計		2,024 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.44 事業名	お見合い推進 （縁むすびさん）	2025 年度 予算額	2,024 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- お見合い事業に登録する方が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数の増加を目指す。

1 事業内容

(1) お見合い支援（縁むすびさん） 【1,404 千円】

縁むすびボランティアおよび事務局で1対1および複数人のお見合いをセッティングする。

※2024 年度事業実績（2025 年 1 月末現在）

- ① 縁むすびさん 66 人（男性 26 人、女性 40 人）
- ② 登録結婚希望者 348 人（男性 230 人、女性 118 人）
- ③ お見合い数 延べ 311 回
- ④ 成婚実績 1 組

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

(2) ボランティアモチベーション向上支援 【620 千円】

ア 縁むすびボランティアが成婚に導いた際に報酬金を支給する。

イ 縁むすびボランティア同士の交流会を開催。講師を招聘し模擬見合い等を行いながら意見交換を行い、ボランティアのモチベーションを高める。

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,024 千円



担当課名【地域づくり課】（内線2781）